

八峰町の国道 101 号線沿いの崖の上にある鹿の浦展望所からは、日本海と黒い砂が特徴の海岸線を一望できる。屋根がついた場所にはピクニックテーブルがあり、海に沈む夕日を眺めるのに人気のスポットとなっている。海の反対側にある白神山地の山々は、海岸風景の雄大な背景を形作っている。

展望所の下の暗い色をした岩と印象的な黒砂は、かつて展望所のすぐ北で操業していた露天掘り鉱山、発盛鉱山の名残りである。銀と銅は黒い岩石から取り出されていた。そのスラグは水を吹き付けられると小さな粒子になり、それが海岸に沿って流され、黒い砂浜ができた。鉱山は 1989 年に閉鎖されたが、黒砂は残っている。採掘の過程で掘り起こされた岩もビーチに沿いに残されたが、それらのギザギザの縁は徐々に海ですり減ってきている。

敷地内には 3 つの飲食店があり、地元の食材を使った定食やイカ焼き、ソフトクリームなど休日に外で楽しめるような食事を提供している。買ったものを展望所のテーブルまで持って行って、それらを食べながら景色を楽しむことができる。

鹿の浦展望所へは車でのアクセスが最も簡単で、五能線の東八森駅から車で約 5 分のところにある。無料駐車場には 20 台の車が駐車可能で、公衆トイレもある。